

作業療法士

心身に障害を持つ方に対して、「こころ」と「からだ」のリハビリテーションを行う専門職です。「作業療法」を通して、患者さんが、その人らしくイキイキと自立した生活を送れるようサポートします。

作業療法士の仕事内容

作業を通して、患者さんが元気に暮らしていけるように、からだだけでなく心の安定も支えます。食べる、着がえる、入浴するなど、日常生活のすべての生活行為が「作業」です。病気やケガなどで障がいのある人に、日常生活の中の動作や運動、ゲームなどを通して、心とからだに働きかけ、身の回りの動作がスムーズにできるように導きます。また、退院後も趣味や仕事など、自分らしくイキイキと過ごせるようになることを目指して支えます。

作業療法士に向いている人

からだのしくみや治す方法に興味がある方はもちろん、患者さんに寄り添ってよりよい生活が送れるようなサポートをしたい！と思う人やさまざまな人と関わることが好きな方は向いています。また患者さんの趣味や仕事など、生活に根付いたものを取り入れる場合が多いため、自分自身が経験した遊びや趣味が大きな強みとなります。遊ぶことが好きな人や趣味が多い人は、提供できる情報やスキルも広がるため、作業療法士に向いています。

作業療法士になるには？

国家資格である「作業療法士資格」が必要です。国家試験を受験するためには、養成施設で3年以上学ばなくてはなりません。

高等学校卒業

大学

短期大学

専門学校など

文部科学大臣指定の学校、厚生労働大臣指定の作業療法士養成施設（3年以上）

作業療法士 国家試験

作業療法士

保健医療大学では、研究をより深く学ぶための大学院を設置

もっと職業を知りたいときにおすすめの漫画、書籍、ドラマなど！

①書籍「1リットルの涙 難病と闘い続ける少女亜也の日記」木藤亜也（幻冬舎文庫）

②DVD「1リットルの涙」監督：岡村力（東映ビデオ）

③書籍「だから、作業療法が大好きです!」葉山靖明（三輪書店）

作業療法士の活躍の場

病院 リハビリテーションセンター 介護老人保健施設 デイケア 訪問介護ステーション
特別支援学校 行政機関 など

Q どんな中学生でしたか？

A 部活を引退するまでは部活に力を入れて学校生活を送っていた。

A 毎日の部活を楽しみに学校に行っていました。学級委員や生徒会などにも所属していました。

Q 中学生の頃になりたい職業はなんでしたか？

A 臨床心理士

A 何となく医療系の仕事

Q いつ頃に医療職を目指すようになりましたか？そのきっかけはなんですか？

A 中学3年生です。
職場体験で、看護師、医療事務、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士の仕事を見学しました。
この5つの中で、患者さんとの距離が1番近く感じたのがリハ職であったことと、それまでリハビリは辛い時間というイメージがあったけど、患者さんを笑顔にして楽しい雰囲気を作ってるリハ職に魅力を感じたのがきっかけです。

A 小学生の高学年の頃です。
祖父や兄が入院した経験から、退院に向けたサポートや寄り添いを行ってくれた医療スタッフに自分もなりたと思いました。

Q 保健医療大学のいいところはどんなところですか？

A

- ・少人数だから入学した時に知り合いがいなくても、自然と仲良くなれる。
- ・実際に御献体を通じて人体構造への理解を深められる解剖学実習がある。
- ・駅近

A 少人数体制でクラスメイト全員と先生との距離が近いので、仲が良い雰囲気です。

Q 中学生のみなさんへひとこと

A 中学生はまだ将来について具体的に考える機会は少ないと思いますが、医療系は大変そうだからというイメージだけで敬遠せずに調べてみて1つの選択肢として考えてみてほしいです。

A 医療現場には医師や看護師など、誰もが知っている職以外にも沢山の職種があるので、時間がある時にでも気になる職業についてスマホやパソコンなどで調べてみてください